

北海道大学病院に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 HMG-CoA 還元酵素阻害剤による副作用と薬物相互作用の実態

【研究機関】 北海道大学病院医療安全管理部

【研究責任者】 南須原 康行（医療安全管理部・准教授）

【研究の目的】 HMG-CoA 還元酵素阻害剤とは、脂質異常症（高コレステロール血症）の中心的な治療薬で広く処方されています。この薬は副作用の少ない薬ですが、稀に横紋筋融解症という筋肉の痛みなどの副作用が出現することがあります。また、フィブラート系という同様の薬との併用により副作用の発現率が高くなると考えられています。この副作用は、筋肉の痛みなどの症状を早期にとらえ薬剤を中止することによって軽快します。一方、血液検査によっても副作用の早期発見が可能です。

当院において、このような薬が処方されている患者さんに対して、副作用発見のための血液検査がどの程度行われているのか、また、副作用がどのくらい発現しているのかについての実態調査を行うことを計画しました。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2003年4月1日から2011年3月31日の間に北海道大学病院でHMG-CoA還元酵素阻害剤を処方された全ての患者さん

●利用するカルテ情報

診療科、診断名、年齢、性別、身体所見、処方内容、血液検査内容、治療内容

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】 札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院医療安全管理部 担当医師 南須原 康行（なすはら やすゆき）

電話 011-706-7030 FAX 011-706-6996